

## マーケットの動き（2024年6月10日～6月14日）

先週の国内債券市場は、前週末比で金利は低下しました（債券価格は上昇）。週初は前週末の米国金利上昇を受け国内金利は上昇しましたが、5月の米国CPI（消費者物価指数）やFOMC（米国連邦公開市場委員会）の結果を受けた米国金利の低下に加え、週末の日銀金融政策決定会合で国債買入の減額方針について具体的な決定が来月に先送りされたことなどを受け、国内金利は低下しました。クレジット市場は、引き続き堅調に推移しました。

## 投資環境見通し（2024年6月）

## 国内長期金利のさらなる上昇余地は限定的

日銀による早期の政策修正観測が広がる中、国債買入れオペの減額を受けて、長期的な国債買入れの減額や追加利上げ時期を巡る思惑が国内長期金利の上昇圧力につながるとみえています。ただし、政策金利見通しに加えて米国長期金利の水準も勘案すれば、国内長期金利のさらなる上昇余地は限定的とみえています。

	6月14日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（日本、%） （変動幅）	0.93	▲0.05	▲0.03	0.24	0.49
NOMURA-BPI総合 （騰落率）	360.42	0.25%	0.21%	▲1.92%	▲4.06%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

[https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload\\_pdf/202406\\_outlook.pdf](https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202406_outlook.pdf)

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

## 日本国債利回りの推移

（期間：2023年5月31日～2024年6月14日）



## NOMURA-BPI総合指数の推移

（期間：2023年5月31日～2024年6月14日）



※2023年5月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成